

# 次年度も窓リフォーム補助金継続!

こどもエコすまい支援事業の予算が9月28日に予算上限に達し受付終了しました。先進的窓リノベ事業は現在(10月2日時点)も申請受付中ですが、次年度も同様の補助事業が継続実施予定です。環境省の予算要求内容をご案内いたします。

## 令和6年度予算(環境省)にて

# 断熱窓改修事業に1170億円の予算要求!

(令和5年度補正予算で実施の可能性も)

今年度の2倍(40万戸)の  
改修を想定

補助率50%相当(定額)  
(今年度より補助単価が下がる可能性も)

対象製品は今年度と同等予定  
(Uw1.9以下)

10月中に取りまとめ予定の  
経済対策に盛り込まれる?

**断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO<sub>2</sub>加速化支援事業**  
(経済産業省・国土交通省連携事業)

【令和6年度要求額 117,000百万円 (令和4年度第2次補正予算額 9,967百万円)】

暮らし関連分野のGXを加速させるため、断熱窓への改修による即効性の高いリフォームを推進します。

**1. 事業目的**

- 既存住宅の早期の省エネ化により、エネルギー費用負担の軽減、健康で快適な暮らしの実現、2030年度の家庭部門からのCO<sub>2</sub>排出量約7割削減(2013年度比)に貢献し、暮らし関連分野のGXを加速させる。
- 先進的断熱窓の導入加速により、価格低減による産業競争力強化・経済成長と温室効果ガスの排出削減を共に実現。
- 2050年ストック平均でZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保に貢献。

**2. 事業内容**

①既存住宅における断熱窓への改修を促進し、暮らし関連分野のGXを加速させるため、以下の補助を行う。

既存住宅における断熱窓への改修  
補助額：工事内容に応じて定額(補助率1/2相当等)  
対象：窓(ガラス・サッシ)の断熱改修工事  
(熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの)

②本補助事業の運営に必要な、データ管理・分析等の支援を行う。

**3. 事業スキーム**

- 事業形態 ①間接補助事業 ②委託事業
- 補助対象・委託先 ①住宅の所有者等 ②民間事業者・団体
- 実施期間 令和4年度～

**4. 補助事業対象の例**

内窓設置 外窓交換 ガラス交換

[現状]

日本の住宅の7割は単板ガラスのみ  
サッシの断熱性能は劣る(熱貫流率 Uw値) 1.9以上

二重サッシ又は複層ガラス窓に差し替え(60%)

住宅の熱の出入りの7割は窓から

出典：1998年、国土院調査

お問合せ先：環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室 電話：0570-028-341



<https://www.env.go.jp/content/000156481.pdf>

制度内容が発表され次第、説明会を開催いたします